

## ソナレノギク

*Heteropappus hispidus* (Thunb.) Less.  
subsp. *insularis* (Makino) Kitamura

キク科  
Compositae

### カテゴリー

大分県 II  
環境庁 掲載なし

**選定理由** 四国・九州の一部に分布する。本県では当該地の海岸や沿海地，日当たりのよい路傍などにみられる。道路拡張や草刈などにより，生育地の消滅や生育環境の悪化が懸念される。

**県内分布** 豊後水道域，豊後水道後背地域

**分布域** 四国 九州(長崎・大分・宮崎・鹿児島)

**生育環境** 海岸路傍や崖地。

**現 状** 「豊後水道域」の半島や沿海地の海岸崖地や路傍に生え，しばしば群生するが，人里近い所では草刈などで衰退している。

**備 考** 国立・国定公園指定植物 [ 瀬戸内海，日豊海岸 ]

## ブゼンノギク

*Heteropappus hispidus* (Thunb.) Less.  
subsp. *koidzumianus* (Kitamura) Kitamura

キク科  
Compositae

### カテゴリー

大分県 準  
環境庁 II

**選定理由** 本県では凝灰岩の岩場に生育し，県北地域に広く分布する。越年草であるが，よく繁殖している。人里近い生育地では，土地の改変や人による採取が懸念される。

**県内分布** 耶馬溪・国東丘陵地，玖珠丘陵地・山地

**分布域** 九州(佐賀・大分)

**生育環境** 低地や丘陵地の岩場。

**現 状** 凝灰岩の岩場に生え，良好な生育地をみかけるが，人里近い生育地では消滅した所がある。

**備 考** 九州北部地域の特産種。基準標本産地 [ 耶馬溪町耶馬溪 ]，国定公園指定植物 [ 耶馬日田英彦山 ]

## チョウセンスイラン

*Hololeion maximowiczii* Kitamura

キク科  
Compositae

### カテゴリー

大分県 IB  
環境庁 IB

**選定理由** 国内では九州を分布域とする。県内の生育範囲は狭く，個体数も少ない。土地改変や野焼きの停止による植生遷移などで，絶滅の危険性が高い。

**県内分布** 中津・宇佐低地，玖珠丘陵地・山地，九重火山群，由布・鶴見火山群，(大分川・大野川丘陵地)

**分布域** 九州(福岡・佐賀・熊本・大分・宮崎・鹿児島)  
朝鮮半島 中国(東北部) アムール ウスリー

**生育環境** 丘陵地から山地の湿地。

**現 状** 生育環境の悪化で，生育状態が衰退した生育地がみられる。「大分川・大野川丘陵地」の標本はあるが，その生育地は把握されていない。

**備 考** 大陸系遺存植物。